

海外インターンシップに 3名の社員が参加しました。

インテックの若手社員3名が、東南アジアでのインターンシップ(就労体験)を経験し帰国しました。海外産業人材育成協会(HIDA)とJETROが経済産業省からの受託で行う「国際即戦力育成インターンシップ事業」に参加したもので、インドネシアとフィリピンの日系企業や業界団体で約半年間、実際の業務に携わりました。



地方出張時にインテックのサービスについてプレゼン(フィリピン)

知人の結婚式にて(インドネシア)



インターン先企業のオフィスが入るPlaza Indonesia(インドネシア)



フィリピン

グローバル事業部
こまつ あさみ
小松 麻美

派遣先はフィリピン商工会議所

マニラにあるフィリピン商工会議所で、商工会議所会員が参加するASEAN関連の経済会議のプレゼン資料作成や調査などを主に行いました。また、短期間ですが民間企業での2度のインターンシップも経験しました。1度目はファストフード店のフランチャイズ運営を行うフィリピン現地企業のICT部門。2度目は日系のSNSサポートを主サービスとする企業の海外営業マーケティング部門です。

コミュニケーションのコツ

フィリピンは何とんでも歌とダンスです。インターン先が主催したビジネスカンファレンス(アキノ大統領もゲスト参加)やクリスマスパーティーでは、プログラムの最後にダンスタイムが用意されており、参加者みんな役割関係なく踊っていました。



職場のクリスマスパーティーでダンスを披露

日系企業のクリスマスパーティーに参加した際、日本人の支社長もフィリピンスタッフたちと一緒に踊っていた光景がとても印象に残っています。フィリピンでビジネスをする際、ダンスは必須かもしれません!?



インドネシア

グローバル事業部
うの おさむ
宇野 理

WEBリニューアルにも参画

人材関連サービスを展開する日系企業にお世話になりました。人材紹介や日本語学校の運営など多岐にわたるビジネスを少しずつ幅広く経験しながら、新規事業のお客さま対応やマニュアル化なども担当しました。また、WEBリニューアルにも携わり、サイトマップの作成やWEBデザイン作成も行いました。



職場スタッフの誕生会にて

習慣や考え方の違いを発見する日々

自宅に招いてもらったり、知人の結婚式に招待してもらったりと、現地の方々の生活に積極的に溶け込み、インドネシアにどっぷり浸かった半年間でした。日本と同じ感覚ではられない場面も多く、異文化への対応力とフレキシビリティは確実に養われたと感じます。

日本だと15分の距離が渋滞で2時間かかったりしますし、屋台で食事をする時は多少お腹を壊してもいいという覚悟が必要でした。また、国民の約9割がイスラム教徒といわれる国なので、会議はお祈りの時間を避ける配慮をするなど習慣や考え方の違いを色々なところで発見する毎日でした。



インドネシア

西日本地区本部
サービス営業部
むかい はるな
向井 陽菜

現地企業にオフィス家具を販売

日本では民間企業のお客さまを担当し、年々海外展開に注力する企業が増えていることを実感していました。実際に海外展開している企業で働いてみることで、そのビジネス展開や課題を知りたいと考え参加しました。インドネシアでは日系オフィス家具メーカーの現地販売代理店で、現地の日系企業やインドネシア企業向けにオフィス家具を販売する営業活動に携わりました。

大切なことは日本と同じ

企業訪問に同行し、インドネシア人と日本人が同席して商談を行う場面では英語やインドネシア語で議論を行いました。当初は語学力の向上ばかりを重視していましたが、重要なことは流暢に話すこと以上に「相手に何を伝えたいのか」をしっかり持つことだと気づきました。これは日本で仕事をする上でも同様です。初心に帰るとともに、大切なことは日本も海外も同じであると感じました。

このインターンシップの経験を生かして、当社やお客さまのグローバル化推進に貢献していきたいと思っています。



職場の仲間と